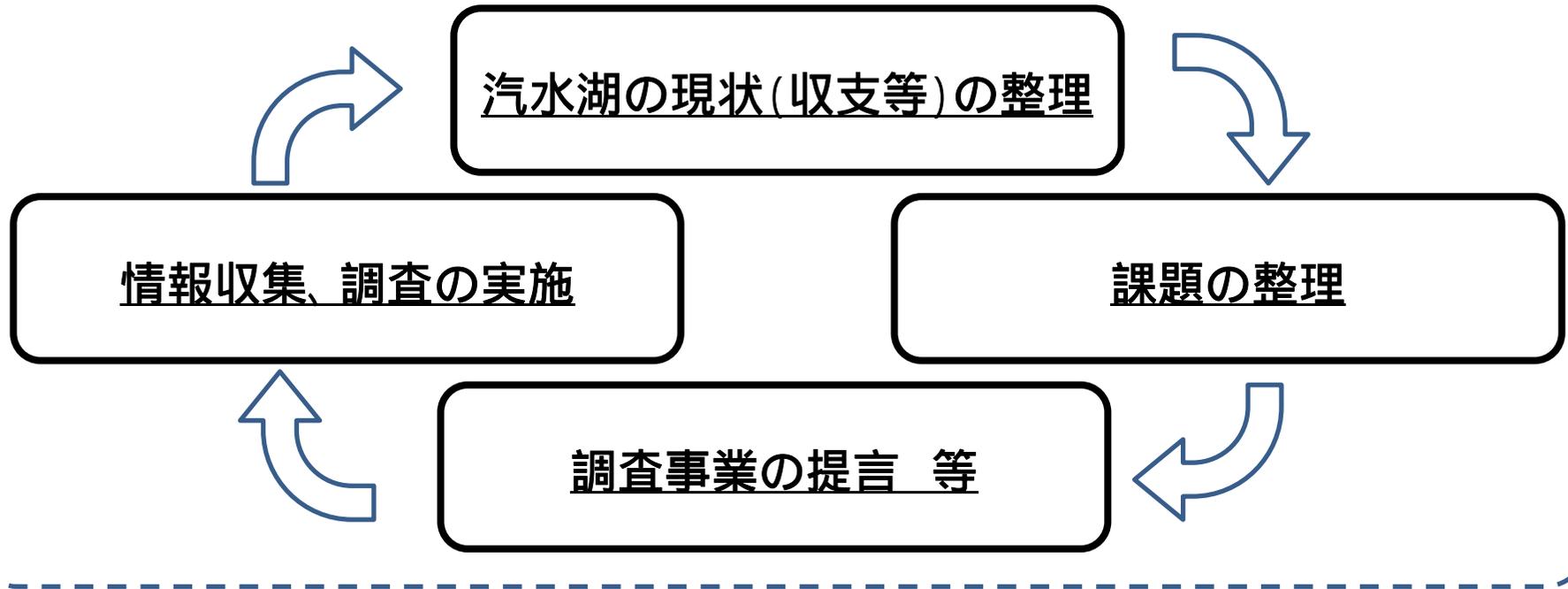


WGの進め方について

「汽水湖汚濁メカニズム解明調査WG」の事務局イメージ

汚濁メカニズムの解明



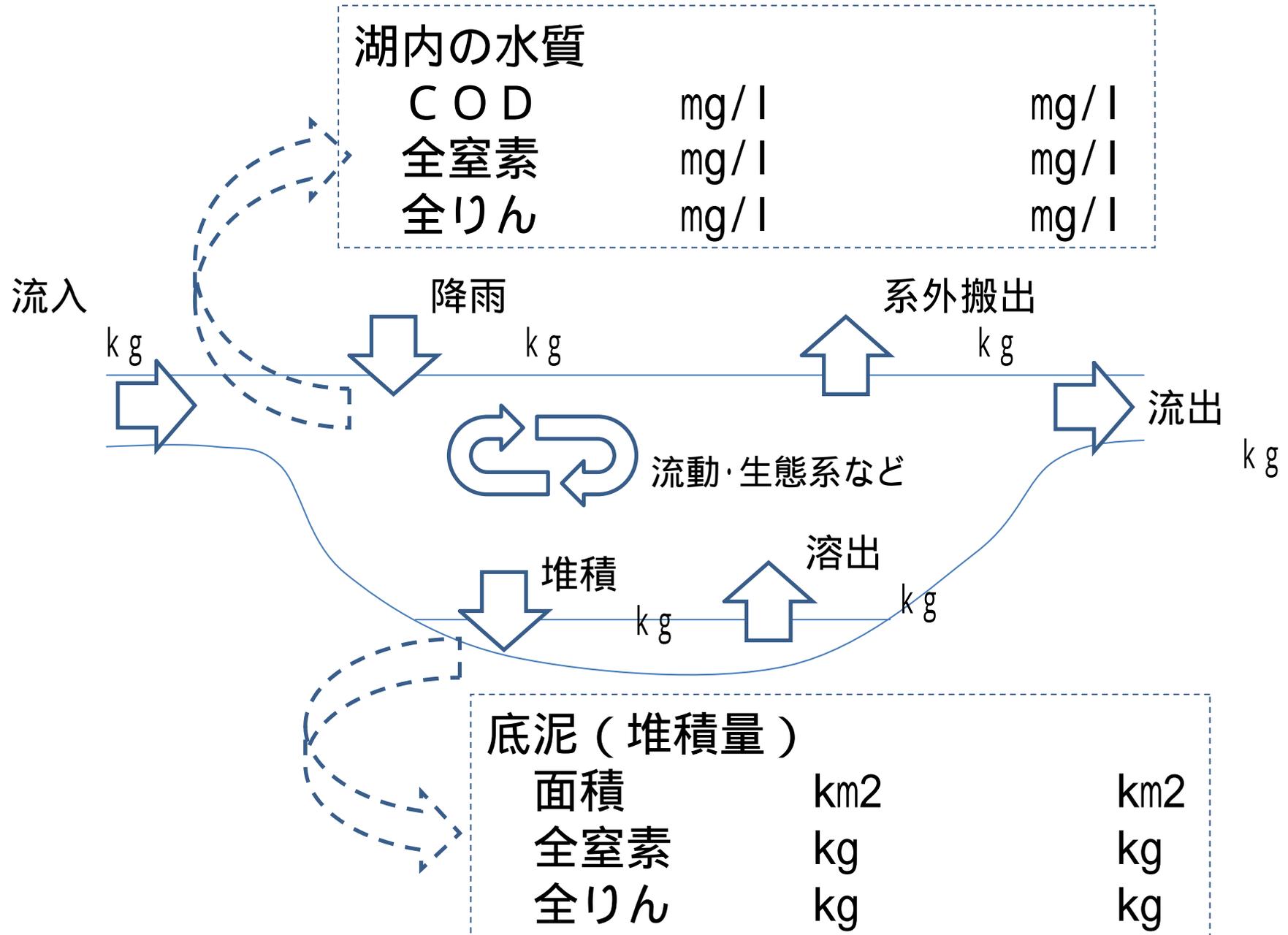
各事象について、的確に把握

シミュレーションモデルに反映(精度アップ、施策の効果検証)

期待される
効果

- ・ 効果的な負荷削減対策の提言
- ・ 流域住民に対する行動指針の作成

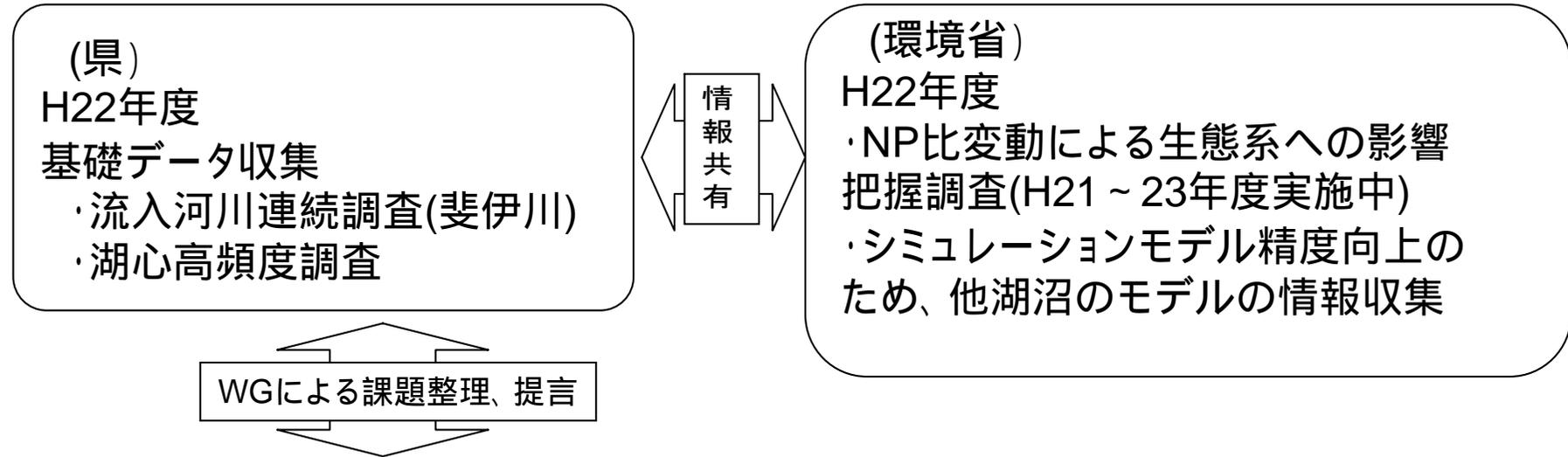
「汽水湖の現状(収支等)の整理」の事務局イメージ



環境省の調査研究(平成22年度以降の予定)

	H22	H23	H24	H25
窒素リン比変動による水生生態系の影響等調査(H21～23年度) <ul style="list-style-type: none"> ・ 窒素リンと植物プランクトンの調査(H21調査済み) ・ 窒素リン比変動による水生生態系の影響検討(H22～23年度) 	←→			
底層DO等を用いた水質環境評価事業(H22～23年度) <ul style="list-style-type: none"> ・ 下層DO、透明度に関する調査(・宍道湖において調査予定) 	←→			
湖沼水質保全施策枠組み再構築事業(H22～24年度) <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国指定湖沼の水質状況・施策実施状況の整理(H22年度) 	←→			
湖沼の環境情報の整理手法の検討(H22年度) <ul style="list-style-type: none"> ・ モデルケース:宍道湖 	←→			
汽水湖の汚濁メカニズム解析(H23～25年度): 予算要求中 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内部生産の検討 ・ 底泥からの溶出量の検討 ・ 湖岸・沿岸帯の自然浄化機能の検討 ・ 健全な水循環の構築の検討 		←→		
面源からの汚濁負荷検討(H23～25年度): 予算要求中 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地(住宅地、道路)からの流入負荷 ・ 山林からの流入負荷 		←→		

今後のWGのスケジュール案(H22年度)



1回目(8月)水環境の状況

- ・ 水質の経年変化 ・ 負荷量の変化 ・ これまでの取り組み ・ 課題の抽出 等

2回目(10月)汚濁機構解明、シミュレーションモデルの構築に必要な調査等の検討

- ・ 流入負荷の精度について
- ・ これまでの調査結果の原単位への反映
- ・ 今後の調査において、県が優先的に取り組むべき事項

3回目(2月頃)汚濁機構解明、シミュレーションモデルの構築に必要な調査等の検討

- ・ 連続調査の中間報告、次年度調査について

など